

みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校



出前授業がありました



2月25日(水)、東京からユニバーサルミュージック合同会社の方に来ていただき、全校児童を対象に英語の出前授業を行っていただきました。ユニバーサルミュージック合同会社は、邦楽・洋楽・クラシック・ジャズなど様々な音楽をうみ出している会社です。今回は英語の授業ということで、洋楽を使って2時間授業をしていただきました。3限目はジャマイカ出身のレゲエ歌手、ボブ・マーリーの‘Three Little Birds’を題材に、ジャマイカの歴史や文化などを教えてもらいました。子どもたちは、数回聞いた

だけで、英語の歌を歌えるようになっていました。4時間目は、ノンバーバルコミュニケーション(言葉を使わずに、情報や感情を伝えるコミュニケーション)を学びました。‘Thumbs up’(いいね!)や‘High Five’(ハイタッチ)など、日本語とは異なる言い方を知り、子どもたちには新しい学びがありました。また、ゆうすげ班に1台ずつレコードプレーヤーを持参いただき、実際にレコードをかける体験をしました。(教職員の中にも、「懐かしい〜」という声と「どうやって使うのですか?」という声がありました…)「レコードって何?」と言っていた子どもたちも、音楽が流れると、3時間目に教えてもらった歌を口ずさんでいました。子どもたちの感想を、以下に紹介します。



・ジャマイカの歴史がよく知れました。歴史を知ってからだと、ボブ・マーリーさんが努力してたことがわかり、すごいと思いました。意味が深かったです。

・今日初めてボブ・マーリーのことも知ったし、洋楽はまだ知らないのもたくさんあると思うから、たくさん聞いてお気に入りの音楽を探したい。

・私はジャマイカという国を知りませんでした。でも、お話を聞くと、その国のいろいろなことがわかりました。お母さんやお父さんに話すと、お父さんがボブ・マーリーを知っていて検索してくれました。ジャマイカのことを知れてよかったです。

・ジャマイカの歴史や文化を知って、よく意味が分かりました。お母さんは、ボブ・マーリーを聞いたことがあると言ってました。

*この授業の様子は、ユニバーサルミュージック合同会社様のご厚意で、ジャマイカ大使館にも届けていただく予定です。